

研究機関：広島大学

研究課題名	中枢性過眠症群の重症度診断に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科睡眠医学講座 教授 塩見 利明
研究期間	倫理委員会承認後～ 2025 年 2 月 28 日
対象者	2022 年 2 月～2025 年 2 月の間に広島大学病院睡眠医療センターにおいて過眠症が疑われ終夜睡眠ポリグラフ検査、反復睡眠潜時検査及び、筑波大学「脳脊髄液中の睡眠・覚醒関連物質であるオレキシン等の測定研究」に髄液を提供し髄液オレキシン濃度測定を施行した患者さん
意義・目的	ナルコレプシー、特発性過眠症に代表される中枢性過眠症群が疑われる患者さんでは、通常終夜睡眠ポリグラフ検査、反復睡眠潜時検査により鑑別診断を行います。これらの検査を行っても確定診断に苦慮する症例があります。睡眠障害国際分類第 3 版ではナルコレプシーの診断基準に髄液オレキシン濃度は含まれていますが、日本では保険収載されていません。しかし確定診断を行うためには髄液オレキシン濃度を測定する必要があります。現在、反復睡眠潜時検査における平均睡眠潜時や入眠時レム睡眠期の回数と髄液オレキシン濃度との相関は不明であり、これらの検査による客観的な評価と過眠の主観的な評価との相関も不明です。このため、これらを検討することにより、中枢性過眠症群の重症度診断における髄液オレキシン濃度の意義を検討します。
方法	中枢性過眠症群が疑われ、終夜睡眠ポリグラフ検査、反復睡眠潜時検査施行した患者さんのうち、確定診断に苦慮し髄液オレキシン濃度測定を施行した患者さんの診療情報を用いて、終夜睡眠ポリグラフ検査、反復睡眠潜時検査の諸指標、髄液オレキシン濃度を調べ、中枢性過眠症群の患者さんにおける睡眠検査の諸指標及び過眠（過度な眠気）の主観的な評価（自己記入式質問票）と髄液オレキシン濃度の相関等を解析します。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科睡眠医学講座 寄附講座教授 塩見 利明
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-1922 広島大学医系科学研究科睡眠医学講座 寄附講座准教授 熊谷 元